

Japan Patent Laid-Open Number: 97207/1981

Laid-Open Date: August 5/1981

Application Number: 171435/1979

Application Date: December 29/1979

Int. Class Number: A61K 7/00

Name of Patentee: Yuko Nozaki

1. Title of the Invention

Facial pack

2. Claims:

1. A facial pack in which a pack agent dissolved or mixed in a water soluble polymer is impregnated in soft paper or fabric having perforated lines at positions of eyes and mouth and having a cut line at position of nose.
2. A facial pack prepared by disposing a pack layer prepared by dissolving or mixing a pack agent in a water soluble polymer on the surface of soft paper or fabric, and then forming perforated lines at positions of eyes and a mouth and a cut line at a position of a nose.
3. A facial pack as defined in claim 1 or 2, wherein the surface of the paper or the fabric is covered with an impermeable layer.

—33—

用中に来訪者等があつた場合簡単に取り除くことができるシート状の美観パックを提供することにある。

以下図面を用いて本発明の美観パックの実施例を詳細に説明する。第1図は本発明の美観パックの一実施例で(a)は平面図、(b)は(a)のA-A'方向断面図である。同図において上は美観パックシート、11は目の位置に設けたミシン目、12は口の位置に設けたミシン目、13は鼻の位置に設けた逆Z字形の切込線である。美観パックシート上は保護性を有しかつ繊維間に透過したバック剤を保持し付けられる紙あるいは布にバック剤を含有させたものである。またこの美観パックシート上に用いられる布あるいは紙としてはバック剤を充分含浸保持できるように弾性を有すると同時に繊維が並んでかつ美観パックシート上が表面とひつたり密着するように材質で、かつバック剤を含有させた後も不変に伸びてしまうことのないような材質のものを使用することが望ましい。

一方この美観パックシート上に含浸させるバック

3

剤は取出しを促進するための三角形のバックシートを別に付けておいても良い。更にこの鼻の位置に設ける逆Z字形の切込線13の代りに鼻が突出するように三角形の穴あるいは口ミシン目を設け、突出した鼻を保護するための三角形のバックシートを別に付けておいても良い。

以上本発明の美観パックの一実施例の構成を詳細に説明したが既に使用用途を簡単に説明する。まずバックシート上の目と口の部分のミシン目に沿つて穴を開けバックシート上を紙に密着させる。この時目、鼻、口のそれぞれの位置にバックシート上の各位置がきちんと合うように注意しなければならぬ。

次に鼻の切込線13から鼻出した鼻の保護部を目または口の部分から取り出したバックシート、あるいは別に設けた三角形のバックシートで保護する。この状態でバックシート上に含浸されているバック剤が乾燥するまで待つて充分乾燥した後バックシート上を紙から剥がす。なお、本発明の美観パックは使用中にバック剤のバインダーとなる水溶性高分子の層が乾燥するのを

13898556- 97207(2)

ク剤はバックの目的に応じて炭素剤、ビタミン剤、滅菌剤等を水溶性高分子材料中に溶解あるいは混入させたものである。またこのバック剤は紙あるいは布に含浸されやすく、かつ紙あるいは布中に浸透し付けられるように適度な粘度を有していることが望ましい。次に目および口の位置に設けたミシン目11および12は本発明の美観パックを使用する前に使用者が容易に取り除けるようにしたものでこのミシン目の形状は円形、方形、円形等全く限定するものでないことは言うまでもない。またこのミシン目11および12に使用者の目および口の大きさに応じて穴の大きさが調整できるようにミシン目を2重以上設けておいてもよい。次に鼻の位置に設けた逆Z字形の切込線13はバックシートが鼻の形状に応じて変形するように設けたものである。なおバックシート上を紙に密着させた時この切込線13から鼻の保護部が露出してしまふので目あるいは口のミシン目11あるいは12に沿つて取り外した部分をこの鼻の保護部に密着使用する。またバックシート上に鼻の

切ぐためにプラスチックの袋あるいはアルミニウムフォートの袋等に保存しておかなければならない。

第2図は本発明の美観パックの他の実施例で断面図を示したものである。同図において2に紙あるいは布からなる層でこの基層となる紙あるいは布の特性としては収縮で不変に伸びることのないようなものを用いる。また前述のバック剤と混合しやすいものを用いる。3は第1図の上に設けたバック剤で種々の目的に応じてバック剤を水溶性高分子材料中に溶解あるいは混合させたものである。なお本発明の美観パックの形状は第1図の実施例と同様に目と口の位置にミシン目を設け鼻の位置に切込線を設けてある。また本発明の美観パックは使用中にバック剤の水溶性高分子材料中に含まれる層が乾燥するのを防ぐためにバック剤3をプラスチックシート等で保護しておく必要がある。

第3図は本発明の他の実施例でバック剤が有効に皮膚に透過するように第1図および第2図の美

5

-34-

6

特開2000-56-97207(5)

膜パックの背面を不透透膜4で被覆したものである。

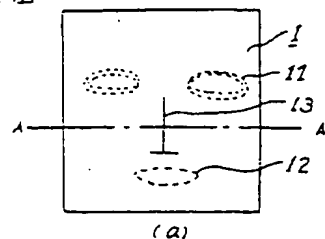
以上を丁るに本発明は水溶性高分子材料中に溶解あるいは投入されたパック剤を収容の紙あるいは布に含浸あるいは塗布した浸漬パックを形成するもので本発明の浸漬パックを用いることにより、簡単にパックを効果良く行うことができる。

4. 図面の簡単な説明

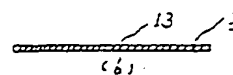
第1図、第2図、第3図は本発明の浸漬パックの実施例を示したものである。

1…浸漬パックシート、11、12…ミシン目、13…切込部、2…容器、3…パック剤、4…不透透膜。

第1図

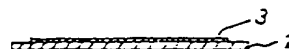


(a)

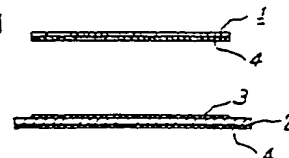


(b)

第2図



第3図



代理人 弁護士 西 之 洋 司

特許代理人  
西之洋司